



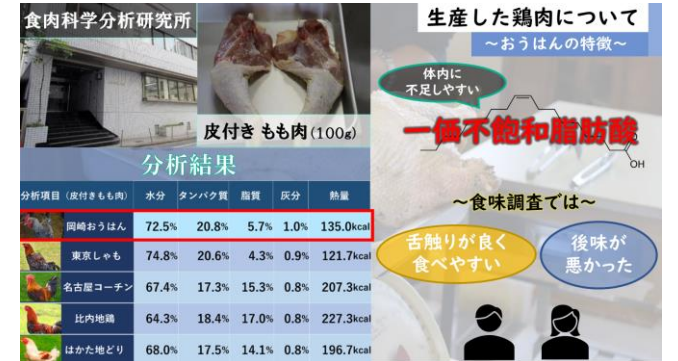
第1回みどり戦略学生チャレンジ 全国大会 報告

大会日時：令和7年2月8日（土）13：00～16：30
大会開催場所：農林水産省7階講堂

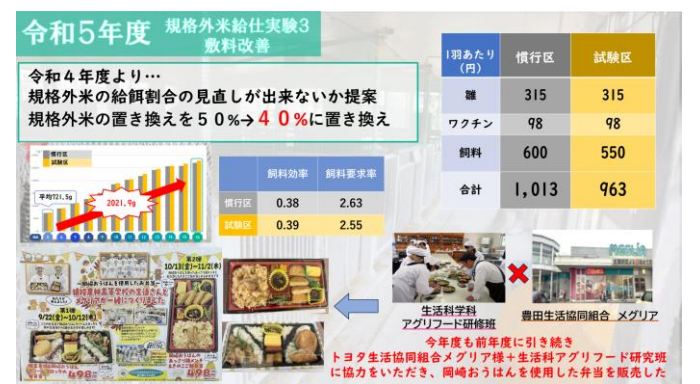
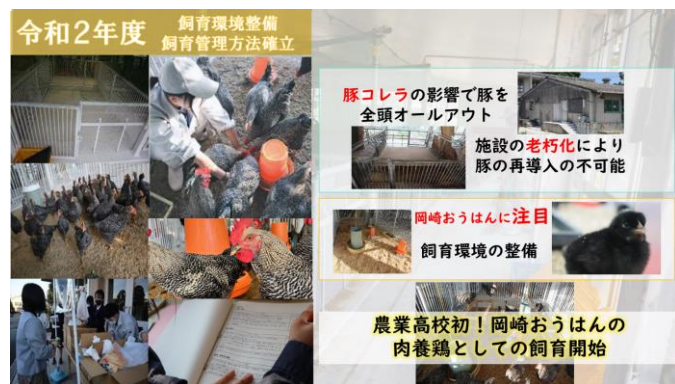
参加者：農業科 畜産部 2年 酒井 愛果
農業科 畜産部 2年 武田 陽菜香
引率者：教諭 太田 幸希（農業科）

本校の取り組み・報告

愛知県立猿投農林高等学校 農業科（畜産部）では、令和元年から飼育施設を考案、令和2年度より「岡崎おうはん」を肉用鶏として飼育しています。飼育していく中で、最も生産コストがかかる飼料費に注目し、飼料費削減を目的に令和3年度より規格外米を活用した養鶏に取り組んでいます。令和6年度では、「過去5年間のデータの分析」、「規格外米の飼料として認識の有無」について実験し、まとめを行い6年間の集大成として農林水産省主催 第1回みどり戦略学生チャレンジ（消費）に応募しました。結果、東海ブロック（高校の部27校参加）の代表3校の1校に選出していただき、全国大会へ参加しました。全国大会では、各種表彰後、来賓を含めた意見交換の場が設けられ、各校の取り組みの概要や苦労した点などを共有しました。※東海ブロック大会の表彰式は令和7年3月3日（火）に実施されます



<年度ごとの取り組み（令和2年～令和5年）>



補足

愛知県立猿投農林高等学校農業科では、野菜、果樹、草花、畜産の4部門があり、豊田市特産の水稻「大地の風」や愛宕梨の生産、持続可能な生産を目指して自給飼料による鶏卵の生産や生花の販売やコケ玉作成の講習会を開催するなど、科目：課題研究での取組に加え、校内に留まらず活動しています。

みどり食料システム戦略（農林水産省HPより抜粋）

我が国の食料・農林水産業は、国内の食料安定供給や食生活を支える重要な産業です。一方で、生産者の減少・高齢化や地域コミュニティの衰退、地球温暖化や生物多様性の喪失などの様々な課題に直面しています。また、近年は、国内外のあらゆる産業において、SDGsや環境への対応が不可欠となり、持続的な生産・消費への関心が高まっています。

こうした状況を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための新たな政策方針として、2021年に「みどりの食料戦略システム戦略」を策定しました。

全国大会 式次第

13：00 開会式

開会挨拶
審査員の紹介

13：15 第1部 表彰式

農林水産大臣賞の表彰・取組発表
大臣官房長賞 高校の部の表彰・取組発表
大臣官房長賞 大学・専門学校の部の表彰・取組発表
全体写真撮影

15：10 休憩（20分）

15：30 第2部 交流会

グループワーク（意見交換会）

Bグループ（酒井）

<参加校>

宮城県農業高等学校
富山県立中央農業高等学校
石川県立翠星高等学校
愛知県立猿投農林高等学校
熊本県立矢部高等学校

<来賓>

農林水産省 技術総括審議官 農林水産技術会議事務局 堀田 輝也 様

Hグループ（武田）

<参加校>

茨城県立水戸農業高等学校
石川県立翠星高等学校
愛知県立猿投農林高等学校
京都先端科学技術大学付属高等学校
愛媛県立今治中等教育学校
沖縄県立中部農林高等学校

<来賓>

株式会社リバネス 執行役員CBO 地域開発事業部 松原 尚子 様

16：30 閉会

